

地域組織活動の評価法に関する研究（3）

母子保健研究部 齊藤 進
研究企画・情報部 小山 修・中村 敬
嘱託研究員 山口 忍（順天堂大学医療看護学部）
臺 有桂（順天堂大学医療看護学部）
田所裕子（ASAKAいくじネットワーク）
大久保美恵（千葉県習志野市役所）
池田康幸（埼玉県三芳町役場）
牛玖幸一（千葉県佐倉市役所）

要 約

地域組織活動の評価方法の一つとして、メンバーが活動によって得られた成果（活動成果指標）を測定する方法を開発し、地域で活動するメンバーや支援に当たる専門職（保健師・栄養士等）・行政担当者が活用できる手引きの作成を目的とした。

分析対象データは、前年度の分析に使用したデータから、女性で成果指標変数データに欠損値がなく、少数組織の者を除いた678レコードを使用した。活動成果指標尺度のモデルを作成、確認的因子分析による適合性と信頼性（アルファ係数）を算出した。このモデルをもとに、各下位尺度項目変数のワーディングや内容を再検討し、新しい活動成果指標尺度を作成した。モデル化した活動成果尺度と活動実態との関係については、組織形態別に活動実態の各水準別の下位尺度得点について一元配置分散分析により差の有無を検定した。

作成したモデルの適合性はよく、活動実態による得点の差が認められたことから、活動成果指標の尺度として使用の可能性が高いと判断した。研究者による下位尺度の名称と変数のワーディングを理論的に整理し、また各下位尺度得点が、5点となるよう追加の質問を追加して活動成果指標尺度（案）と「地域組織活動支援の手引き」の内容（目次案）を作成した。項目追加や信頼性が若干低い下位尺度もあり、今後の改善が必要であるが、活動者やその支援にあたって十分活用できると考えられる。

キーワード：地域組織、活動評価、活動成果指標、

Research on the Evaluation of the Activities of Community Organizations (3)

Susumu SAITO, Osamu OYAMA, Takashi NAKAMURA, Shinobu YAMAGUCHI
Yuka DAI, Yuku TADOKORO, Mie OKUBO, Yasuyuki IKEDA, Koichi USHIKU

Abstract : As a method to evaluate the activities of community organizations, the objective of this research was to develop a method of measuring the results obtained from the activities of organization members, and to create a "Guideline for Support of Community Organizations" for professionals and government officials.

Data used in the analysis were 678 data records for which there were no missing values for data used in analysis of the previous year. A model of activity evaluation indicators was created and compatibility and dependability were calculated according to a verification based factor analysis. Based on this model, wording and content of subscales were reconsidered and new activity evaluation indicators were created. For the relationship between the scale scoring of activity evaluation indicators and actual activity situation, a one-way analysis of variance was performed for each of organizational makeup and activity makeup.

Since the compatibility of the created model was good and a score difference was observed depending on activity situation, the possibility of using as a scale of activity evaluation indicators was determined to be high. By logically arranging subscale name and variable wording assigned by the researchers, and adding additional questions so that the subscale point scores totaled 5 points, an activity evaluation indicator (proposed) and content for a "Guideline for Support of Community Organizations" (proposed table of contents) were created. Because the reliability of some subscales and items were low and items were added, further improvement is needed. However, it is thought that this research can have sufficient applicability in supporting activities.

Keyword : community organizations, activity evaluation, activity evaluation indicators

I. 研究目的

地域組織活動は、プライマリ・ヘルス・ケアの4原則としての「住民参加」、ヘルスプロモーションの活動方法における「地域活動の強化」として重要とされており¹⁾、近年では子育てネットワーク等の新しいタイプの活動が展開され、従来の地域組織活動の活性化が課題となっている。活動の活性化を図るためには、活動の評価が必須であり、また、行政評価の推進によって、健康づくり活動の展開においても評価が求められ、地域組織活動においてもその必要性が高まってきた。しかし、地域組織活動の評価に適切な指標や測定方法は報告されていない。

本研究では、前年度の研究に引き続き、地域組織活動の評価方法の一つとして、メンバーが活動によって得られた成果（活動成果指標）を測定する方法の開発を進めた。メンバーの活動成果を地域組織活動の評価として考えることの意味は、メンバーもひとりの地域住民であること、次に、メンバーの行動の変容や地域での活動能力の向上とともに地域組織活動が展開され、地域住民の保健・福祉の向上が実現すると考えたためである。その観点から、地域で活動するメンバーや支援に当たる専門職（保健師・栄養士等）や行政担当者が活用できる活動成果尺度の開発と活動支援のポイントを析出し、支援手引きの作成することを目的とした。

II. 研究方法

1. 分析に使用したデータ

分析対象としたデータは、平成16年度の分析に使用したデータから、尺度作成に使用した変数において、欠損値がなく、回答者が少数である男性を除いた女性のみで、回答者が少数であった所属組織の者を除いた678レコードのデータを使用した。

本データの調査は、協力の承諾を得た47市町村の48組織のメンバー2,290名を対象、平成16年11月から平成17年1月に市町村の担当課を通じて無記名の自計式調査票を配布、直接郵送回収および事務局一括回収返送により実施し、有効回収数は1,356(59.2%)であった。

調査項目は、メンバーの属性、活動実態（活動への参加状況・活動の雰囲気・リーダーとメンバーの関係・地域での活動状況）と活動成果である。活動成果は、①地域の人のつながり、②地域社会への貢献、③運営の障害、④健康づくり行動、⑤専門職・行政との関係、を構成要素とし、その下位尺度として各6項目合計30項目の質問で、その得点は、「非常に良くあてはまる」(6点)から「全くあてはまらない」(1点)の6段階とし、点数が高いほど成果が高くなるようにした^{3) 4)}。また、実用化の観点から、4点未満を0点、4点以上を1点の2値(はい・いいえ)に変換して分析に使用した。

2. 分析方法

活動実態については、「委員型（母子保健推進員、保健推進員）」、「地縁型（愛育班）」、「行政育成ボランティア型（食生活改善推進員）」（以下、行政育成ボラ型という）の組織形態別のクロス集計を行った。

活動成果指標の尺度作成は、6段階の回答データを使用し、AMOSによる確認的因子分析（適合度）、アルファ係数の算出、研究者による項目の検討を行い、5つの下位尺度およびその変数項目を決定した。

次に、尺度に使用する質問項目の回答を6段階の4点以上を1点とし、3点以下を0点とした2値に変換したデータを使用して、確認的因子分析と信頼性（アルファ係数）を検討した。この2値データを使用し、下位尺度ごとに合計点を算出、活動成果の下位尺度得点とした。

活動実態と活動成果の関係については、活動実態の各水準別に下位尺度得点について一元配置分散分析を行った。また、活動実態に関する変数について、活動参加度、情報、楽しさ（雰囲気）、リーダーとメンバー、地域での活動の5領域について、2元配置分散分析を行い、交互作用を確認した。ついで、各領域から主効果のみられた一変数を選び、多元配置分散分析により交互作用の有無を確認した。

集計分析には、SPSS 14.0 for Win および AMOS 5.0 を使用した。

これらの分析を踏まえて、研究者による下位尺度の名称と変数のワーディングを理論的整理し、また各下位尺度得点が、5点となるよう追加の質問を検討作成し、活動成果チェックシートの案を作成、使用の手引き（小冊子）の内容を作成した。

III. 研究結果

1. 分析に使用したデータセットの属性

所属組織の形態は、委員型(44.2%)が最も高く、次いで行政育成ボラ型(31.6%)、地縁型(24.2%)の順であった。メンバーの経験年数は、「2年以下」(31.0%)、「～10年以下」(26.5%)、「～4年以下」(21.4%)、「11年以上」(19.2%)の順で、4年以下が半分を占めていた。「60～64歳」(23.6%)が高く、次いで「65歳以上」(21.4%)、「55～59歳」(20.2%)、「50～54歳」(17.7%)、「50歳未満」(17.1%)の順であった。就業状況は、「仕事をしている」(50.6%)と「していない」(48.8%)が同比率であった。「夫婦と未婚の子ども（核家族）」(28.9%)が高く、「夫婦のみ」(27.3%)、「親夫婦、子夫婦と未婚の子ども（三世同居）」(23.0%)の順であった。居住年数は、「21～30年目」(28.8%)と「31～40年目」(28.0%)が高く、全体の約6割を占めていた。(表1)

2. 組織形態別活動実態（クロス集計）

活動参加状況について、全体では「ほとんど参加して

いる」（48.8%）が高く、次いで「半分以上は参加している」（32.5%）で、組織形態別も同傾向であったが、「半分以上しか参加していない」割合は、「地縁型」（27.0%）が「委員型」（10.7%）、「行政育成ボラ型」（15.7%）に比べ高かった（表 2）。会議への出席状況について、全体では「ほとんど参加している」（50.9%）が高く、次いで「半分以上参加している」（28.5%）であったが、組織形態別にみると、「半分以上しか参加していない」割合は「地縁型」（22.4%）が「委員型」（10.2%）、「行政育成ボラ型」（17.6%）に比べ高かった（表 3）。研修参加状況についても活動、会議と同傾向で「地縁型」（29.4%）が「委員型」（12.6%）、「行政育成ボラ型」（16.4%）に比べ高かった（表 4）。

発言状況について、全体では「できたり、できなかつたり」（53.3%）が高く、次いで「できる」（37.9%）で、「できない」（8.8%）は低く、組織形態別でも同傾向であった（表 5）。情報伝達状況について、全体でみると「情報は伝わってくる」（73.8%）が高く、4分の3を占めており、組織形態別でも同様であった（表 6）。

活動の楽しさについて、全体では「はい」（48.9%）と「どちらともいえない」（47.3%）が半分ずつを占め、「いいえ」は低かったが、組織形態別にみると「はい」の割合は「地縁型」（27.0%）が「委員型」（51.7%）、「行政育成ボラ型」（61.8%）に比べ低かった（表 7）。発言できる雰囲気について、全体では、「なっている」（70.1%）が高く、7割を占めていたが、組織形態別にみると「地縁型」（61.1%）が「委員型」（75.8%）、「行政育成ボラ型」（69.2%）に比べ若干低い傾向が見られた（表 8）。

メンバー意見の理解について、全体では「理解している」（74.3%）が高く、4分の3を占め、組織形態別も同傾向であった（表 9）。メンバー意見の尊重について、全体では「はい」（96.8%）がほとんどで、組織形態別でも同様であった（表 10）。また、リーダーとメンバーの信頼関係について、全体では「はい」（96.8%）がほとんどで、組織形態別でも同様であった（表 11）。

地域住民の活動認知状況について、全体では、「少し知られている」（50.7%）が高く、次いで「かなり知られている」（28.0%）であったが、組織形態別にみると「かなり知られている」割合が「行政育成ボラ型」（42.0%）が「地縁型」（26.2%）、「委員型」（19.1%）に比べ高かった（表 12）。地域の意見の反映について、全体では「やや反映している」（57.5%）が高く6割を占めていたが、組織形態別にみると、「よく反映している」割合が、「行政育成ボラ型」（23.3%）が「地縁型」（11.7%）、「委員型」（5.4%）に比べ高い傾向がみられた（表 13）。

3. 下位尺度項目の検討

3-1 AMOS（共分散構造分析ソフト）の確認的因子分析を用いたモデルの適合度

平成 15、16 年度の研究から作成した 5 つの下位尺度

（「地域の人とのつながり」、「地域社会への貢献」、「運営の障害」、「健康づくり行動」、「専門職・行政との関係」）の 30 項目の質問を使用した確認的因子分析を行い、モデルの適合度を検討し、各下位尺度 5 項目の質問項目（「専門職・行政との関係」のみ 3 項目）によるモデルを作成し、適合性が高いことが確認した（適合度 GFI= .922、RMSEA= .054）。

このモデルを基に、下位尺度および質問項目の内容やワーディング等の整合性の検討を行い、質問項目を整理し、「地域社会への貢献」、「専門職・行政との関係」以外の下位尺度名を「地域の人とのつながり」は「人とのつながり」に、「運営の障害」は「運営の活性化」に、「健康づくり行動」は「健康行動」に修正し、5 つの下位尺度、20 の質問項目によるモデルを作成した。本モデルを再度確認的因子分析により検討し、適合性が高いことが確認できた（適合度 GFI= .935、RMSEA= .053）。

続いて、実用性の向上を図るために、「はい」「いいえ」の 2 値データ（はい=1、いいえ=0）を使用して確認的因子分析を行い、モデル適合性が高いことを確認した。

（図 1、適合度 GFI= .942、RMSEA= .048）。

3-2 下位尺度の信頼性（ α 係数）

5 つの下位尺度の信頼性について、Cronbach のアルファ係数を算出した結果、「人とのつながり」（.79）、「地域社会への貢献」（.70）、「健康行動」（.73）では 0.7 以上でオリジナルの回答（6 段階）より下がるが、信頼性に問題はないと判断した。「運営の活性化」（.63）、「専門職・行政との関係」（.59）については、0.6 前後と低い値となっていた（表 14）。

4. 下位尺度得点の分析

4-1 組織形態別一元配置分散分析

組織形態別に下位尺度得点を比較すると、「人とのつながり」、「地域社会への貢献」、「運営の活性化」、「健康行動」、「専門職・行政との関係」のすべての下位尺度において、平均値に差がみられた（ $P < .001$ ）（表 15）。

4-2 活動実態別分散分析

活動実態別平均得点と検定結果を表 16 に示した。活動実態の各水準間に 5%水準で差がみられた活動実態をみると、「人とのつながり」においては、メンバー意見の尊重を除く、活動参加状況、会議出席状況、研修参加状況、発言状況、情報伝達状況、活動の楽しさの状況、発言できる雰囲気状況、メンバー意見の理解、リーダーとメンバーの信頼関係、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況の 11 変数であった。

「地域社会への貢献」では「人とのつながり」と同様に、メンバー意見の尊重を除く、活動参加状況、会議出席状況、研修参加状況、発言状況、情報伝達状況、活動の楽しさの状況、発言できる雰囲気状況、メンバー意見の理解、リーダーとメンバーの信頼関係、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況の 11 変数であった。

「運営の活性化」では、活動参加状況、会議出席状況、研修参加状況、発言状況、情報伝達状況を除く、活動の楽しさの状況、発言できる雰囲気状況、メンバー意見の理解、メンバー意見の尊重、リーダーとメンバーの信頼関係、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況の7変数に差がみられた。

「健康行動」では、メンバー意見の尊重を除く、活動参加状況、会議出席状況、研修参加状況、発言状況、情報伝達状況、活動の楽しさの状況、発言できる雰囲気状況、メンバー意見の理解、リーダーとメンバーの信頼関係、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況の11変数で差がみられた。

「専門職・行政との関係」では、会議出席状況、研修参加状況、情報伝達状況、発言できる雰囲気状況を除く、活動参加状況、発言状況、活動の楽しさの状況、メンバー意見の理解、メンバー意見の尊重、リーダーとメンバーの信頼関係、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況の8変数に差がみられた。

活動実態に関する変数のうち、活動参加度として、「活動参加状況」と「会議出席状況」の回答比率は類似しており、また、 χ^2 乗検定の結果、関連性が高いことが認められた($P < .001$, $\gamma = .923$)ため、活動参加の変数として「活動参加状況」と「研修参加状況」を選択した。また、リーダーとメンバーに関する変数のうち、「信頼関係」については、構造上メンバー意見の理解とメンバー意見の尊重の両者を含むと考えられるため、信頼関係を除く、「メンバー意見の理解」と「メンバー意見の尊重」を使用することにした。

活動実態の五領域ごとに二元配置分散分析を交互作用の有無を検討した結果、「地域社会への貢献」において、「活動の楽しさ」と「発言できる雰囲気」の交互作用が確認された(表17)。次いで、「人とのつながり」と「地域社会への貢献」、「健康行動」において主効果が確認できた変数のうち、領域の共通性を考慮して「研修参加」「情報伝達」「楽しさ」「メンバー意見の理解」「住民意見の反映」を変数とし、「運営の活性化」では、「活動参加」と「雰囲気」、「メンバー意見の尊重」の変数として多元配置分散分析を行い、「地域社会への貢献」と「健康行動」において交互作用が確認された(表18)。これらの結果を踏まえ、活動状況把握用の質問項目を整理して、活動成果指標尺度用紙(2ページ目)を作成した(表23)。

5. 組織形態別分析

5-1 委員型(母子保健推進員・保健推進員)

活動実態別平均得点と検定結果を表19に示した。活動実態の各水準間に5%水準で差がみられた活動実態をみると、「人とのつながり」では、研修参加状況、発言状況、情報伝達状況、活動の楽しさの状況、発言できる雰囲気状況、メンバー意見の理解、リーダーとメンバーの信頼関係、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況

の9変数に差がみられた。

「地域社会への貢献」では、研修参加状況、発言状況、情報伝達状況、活動の楽しさの状況、発言できる雰囲気状況、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況の7変数で差がみられた。

「運営の活性化」では、発言できる雰囲気状況、メンバー意見の理解、リーダーとメンバーの信頼関係の3変数に差がみられた。

「健康行動」では、研修参加状況、情報伝達状況、活動の楽しさの状況、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況の5変数で差がみられた。

「専門職・行政との関係」では、活動の楽しさの状況、地域の意見の反映状況の2変数で差がみられた。

5-2 地縁型(愛育班)

活動実態別平均得点と検定結果を表20に示した。活動実態の各水準間に5%水準で差がみられた活動実態をみると、「人とのつながり」では、発言状況を除く11変数で差がみられた。

「地域社会への貢献」では、研修参加状況、活動の楽しさの状況、メンバー意見の理解、メンバー意見の尊重、リーダーとメンバーの信頼関係、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況の7変数に差がみられた。

「運営の活性化」では、活動参加状況、会議出席状況、活動の楽しさの状況、発言できる雰囲気状況、メンバー意見の理解、メンバー意見の尊重、リーダーとメンバーの信頼関係、地域の意見の反映状況の8変数に差がみられた。

「健康行動」では、会議出席状況、研修参加状況、情報伝達状況、活動の楽しさの状況、発言できる雰囲気状況、メンバー意見の理解、メンバー意見の尊重、リーダーとメンバーの信頼関係、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況の10変数で差がみられた。

「専門職・行政との関係」では、発言状況だけに差がみられた。

5-3 行政育成ボランティア型(食生活改善推進員)

活動実態別平均得点と検定結果を表21に示した。活動実態の各水準間に5%水準で差がみられた活動実態をみると、「人とのつながり」では、活動参加状況、会議出席状況、研修参加状況、発言状況、情報伝達状況、活動の楽しさの状況、発言できる雰囲気状況、メンバー意見の理解、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況の10変数で差がみられた。

「地域社会への貢献」では、「人とのつながり」と同様に、活動参加状況、会議出席状況、研修参加状況、発言状況、情報伝達状況、活動の楽しさの状況、発言できる雰囲気状況、メンバー意見の理解、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況の10変数で差がみられた。

「運営の活性化」では、活動の楽しさの状況、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況の3変数で差がみられた。

「健康行動」では、メンバー意見の尊重以外の11変数で差がみられた。

「専門職・行政との関係」では、発言できる雰囲気状況、地域住民の活動認知状況、地域の意見の反映状況の3変数で差がみられた。

6. 活動成果指標尺度の作成

適合度を確認できたモデルを基に、各下位尺度項目について検討し、「人とのつながり」に「Q26 友人を活動に誘うようになった」、「地域社会への貢献」に「Q2 地域に溶け込めたと思うようになった」と「Q17 地域の課題がみえるようになった」、「運営の活性化」に「組織の理念や目的を共有できなかった」、「専門職・行政との関係」に「Q20 行政との考え方の違いに気づいた」と「Q26 行政からの理解が得られなかった」を追加、「健康行動」では、「自分の健康管理をしっかりとするようになった」を「健康管理をしっかりとするようになった」に修正し、活動評価尺度試案を作成した（表22、表23）。

続いて、この活動成果指標尺度試案を中心とした「地域組織活動支援の手引き（仮題）」の内容を検討し、次の目次案を作成した。

地域組織活動支援の手引き（仮題）

1. はじめに
2. 地域組織活動の歴史
3. ヘルスプロモーションと地域組織
4. 用語説明（住民組織、地域組織、地区組織）
5. 住民組織の類型と特徴
6. 支援ツール
 - Toolbox 1 課題発見フローチャート
 - Toolbox 2 データ収集・分析方法
 - Toolbox 3 活動成果指標尺度の使用法
 - Toolbox 4 リーダー行動尺度⁵⁾ ⁶⁾の使用法
 - Toolbox 5 研修企画
7. 支援に当たって留意すること
8. 参考資料（参考図書・文献）

IV. 考察

1. 活動成果指標尺度の作成

共分散構造分析ソフト（AMOS）を使用して確認的因子分析を行い、モデルのあてはまりを検討した。適合性は、回帰分析 r^2 乗と同様に解釈できるGFI（1に近づくほど適合している）と0.05以下の場合あてはまりがよく0.05～0.1がグレーゾーンとされるRMSEA（平均二乗誤差平方根）を基準として採用し、分析した⁷⁾ ⁸⁾ ⁹⁾。5つの下位尺度を用いた活動成果指標を測定するモデルの適合性（GFI=.942、RMSEA=.048）を確認し、本モデルを使用

することにした。昨年度の活動者データを使用した因子分析による3つの下位尺度構成に比べ、5つの下位尺度は、地域組織の活動を支援する保健師対象の調査データからの析出であること、また、今回の活動者調査データによるモデルの適合性の確認により、5つの下位尺度を使用した活動成果指標尺度は活動評価に使用できると考えられる。しかし、Cronbachのアルファ係数は、「人とのつながり」（.79）、「地域社会への貢献」（.70）、「健康行動」（.73）、「運営の活性化」（.63）、「専門職・行政との関係」（.59）と若干低い値となっているため、各下位尺度の得点を算出する質問項目については、今後の検討が必要である。

実用化の観点から、6件法の下位尺度項目を2値データに変換して分析した点について、2値データの共分散構造分析については最良ではないとする研究もあり¹⁰⁾、また、直接観測された2値データでないこと、および回答方法による偏りなどを含め、今後の検証が必須と思われる。

多元配置分散分析の結果から、「活動の楽しさ」と「発言できる雰囲気」の交互作用は、両者の「どちらともいえない」と回答した層が他に反した傾向を示すことが影響していると考えられる。これは、質問のワーディングに若干の問題があることを示唆していると推測される。また、各下位尺度得点を合計5点満点になるように、質問項目を追加した「地域社会への貢献」、「運営の活性化」、「専門職・行政との関係」の下位尺度では、追加項目のワーディングや合成尺度としての使用の適否等をあわせて検討する必要がある。今後の調査や尺度の利用時に、データの追加収集を行い、分析と検討、改訂が必要と思われる。

また、多元配置分散分析で、交互作用がみられた「地域社会への貢献」と「健康行動」においては、活動実態の変数との関係を考える場合に注意が必要である。従って、活動成果指標尺度と活動実態とを関連させて検討する場合は、十分な検討が必要であるため、地域の活動をよく知っている保健師・栄養士等の専門職の助言が不可欠であると考えられる。

2. 組織形態別活動成果指標

委員型、地縁型、行政育成ボラ型の組織形態別に活動成果指標の得点を比較したところ、すべての下位尺度において有意な差がみられたことから、組織形態別に得点を算出した。「人とのつながり」、「地域社会への貢献」の得点に差がみられた活動実態の変数は多いが、「専門職・行政との関係」では少ない傾向がみられた。「運営の活性化」と「健康行動」については、差がみられた変数が大きく異なっており、活動実態の違いによるものと考えられる。

地縁型では、他に比べ活動や会議への参加度が低い傾向がみられ、また、この参加状況が「地域社会への貢献」

や「健康行動」、「専門職・行政との関係」に影響していないことから、活動の形骸化が推測される。

委員型では地縁型に比べ、参加状況はよいが、やはり、すべての下位尺度に差がみられず、活動内容の検討が必要であると思われる。

行政育成ボラ型では、活動等の参加状況が、「人とのつながり」、や「地域社会への貢献」、「健康行動」の得点に影響していることから、活発な活動展開が推測される。しかし「運営の活性化」には差がみられないことから、行政が主導して活動が展開されている可能性があると思われる。自主性の育成の観点から、支援方法の再考が望まれる。

組織形態や活動実態の相違により、活動成果指標の得点に差がみられ関係性が確認されたが、調査対象が48組織と限定された調査データであることから、かなりの偏りがあると推測される。この点から、今後はより多くの地域での使用が望まれ、そのデータによる再検証が必要と思われる。

3. 地域組織活動支援の手引き作成

地域組織の活動や支援の報告とその課題等についての研究は多いが、アセスメントや評価まで含めたものは少ない¹¹⁾。また活動評価という視点を加え、活動成果を測定する尺度は開発されていないため、活動実態と活動成果を組み合わせた本研究による活動成果指標の尺度開発は、活動支援のポイントの明確化や任期終了時の活動評価など、活性化と支援に有効に利用できると思われる。しかし、対象数が少ないなど今後の調査データの追加による再検討は必要であると思われる。

「地域組織活動支援の手引き」の支援ツールとして、5つのツールを検討したが、活動成果指標尺度、リーダー行動尺度のみが実際に使用可能なツールである。しかし、このツールも対象やデータの偏りがあると考えられる。従って、使用しながらの改善が重要かつ必要であると思われる。より多くの地域や組織活動で使用し、そのフィードバックにより、有効な尺度となるように改良し、あわせて、地域組織活動支援の手引きの内容の充実を図っていく予定である。

V. 結論

活動を活性化させるためには、活動者が自分の成長や変化、つまり活動成果を確認できることが必要であり、また支援者も同様である。活動成果指標は、活動を評価する一領域にすぎないが、活動によるアウトカムが捉えにくい地域組織活動にあっては、有効な方法と考えられる。作成した活動成果指標尺度は、今後の改善が必要であるが、活動者やその支援にあたって十分活用できると考えられる。また、使用に当たっての留意事項などを記載した詳細な手引きやマニュアルの作成が必要で、現在

整理中の組織形態別活動支援のポイントや尺度使用事例を収集し、手引きを作成していく予定である。

文献

- 1) 松田正己、21世紀のPHC実践、松田正己他編「変わりゆく世界と21世紀の地域健康づくり」、
- 2) 島内憲夫、ヘルスプロモーション入門、垣内出版、15--22、1996
- 3) 斉藤進他、地域組織活動の評価に関する研究(1)、日本子ども家庭総合研究所紀要、第40集、143--158、2004
- 4) 斉藤進他、地域組織活動の評価に関する研究(2)、日本子ども家庭総合研究所紀要、第41集、117--123、2005
- 5) 斉藤進、地域組織活動のリーダーシップに関する研究(1)、日本子ども家庭総合研究所紀要、第33集、289--293、1997
- 6) 斉藤進、地域組織活動のリーダーシップに関する研究(2)、日本子ども家庭総合研究所紀要、第35集、233--238、1999
- 7) 田部井明美、SPSS完全活用法 共分散構造分析(AMOS)によるアンケート処理、東京図書、138--148、2001
- 8) 狩野裕、グラフィカル多変量解析、現代数学社、142--153、1997
- 9) 豊田秀樹・前田忠彦・柳井晴夫、原因を探る統計学、講談社、174--177、1992
- 10) 狩野裕、グラフィカル多変量解析、現代数学社、153--156、1997
- 11) 山口忍・斉藤進、地域組織活動家政科に向けての一考察、順天堂大学医療看護学部 医療看護研究、2(1);38--44、2006

表1 分析対象の属性

	度数	パーセント
組織形態		
委員型	300	44.2
（母子保健推進員	112	16.5
（保健推進員	188	27.7
地縁型（愛育班）	164	24.2
行政育成ボランティア型 （食生活改善推進員）	214	31.6
メンバーの経験年数		
～2年以下	210	31.0
～4年以下	145	21.4
～10年以下	180	26.5
11年以上	130	19.2
N. A.	13	1.9
年齢		
5 0 歳未満	116	17.1
5 0 ～ 5 4 歳	120	17.7
5 5 ～ 5 9 歳	137	20.2
6 0 ～ 6 4 歳	160	23.6
6 5 歳以上	145	21.4
就業状況		
仕事をしている	343	50.6
していない	331	48.8
N. A.	4	0.6
家族形態		
ひとり暮らし	27	4.0
夫婦のみ	185	27.3
夫婦と未婚の子ども （核家族）	196	28.9
親夫婦、子夫婦と未婚の 子ども（三世代同居）	156	23.0
その他	113	16.7
無回答	1	0.1
居住年数		
～10年目	53	7.8
～20年目	107	15.8
～30年目	195	28.8
～40年目	190	28.0
～50年目	85	12.5
～60年目	31	4.6
60年目超～	14	2.1
無回答	3	0.4
N=	678	100.0

表2 組織形態別活動参加状況

	ほとんど参加している		半分以上は参加している		半分以上しか参加していない		まったく参加していない		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
委員型	161	53.7	104	34.7	32	10.7	3	1.0	300	100
地縁型	80	49.1	37	22.7	44	27.0	2	1.2	163	100
行政育成ボラ型	89	41.8	79	37.1	32	15.0	13	6.1	213	100
合計	330	48.8	220	32.5	108	16.0	18	2.7	676	100

N. A. 不明を除いて集計 χ^2 検定 P<.001

表3 組織形態別会議出席状況

	ほとんど参加している		半分以上は参加している		半分以上しか参加していない		まったく参加していない		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
委員型	170	57.8	82	27.9	30	10.2	12	4.1	294	100
地縁型	84	52.2	35	21.7	36	22.4	6	3.7	161	100
行政育成ボラ型	82	40.0	71	34.6	36	17.6	16	7.8	205	100
合計	336	50.9	188	28.5	102	15.5	34	5.2	660	100

N. A. 不明を除いて集計 χ^2 検定 P<.001

表4 組織形態別研修参加状況

	参加している		参加していない		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%
委員型	256	87.4	37	12.6	293	100
地縁型	113	70.6	47	29.4	160	100
行政育成ボラ型	173	83.6	34	16.4	207	100
合計	542	82.1	118	17.9	660	100

N. A. 不明を除いて集計 χ^2 検定 P<.001

表5 組織形態別発言状況

	できる		できたり、できなかつたり		できない		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
委員型	115	39.4	159	54.5	18	6.2	292	100
地縁型	53	34.4	82	53.2	19	12.3	154	100
行政育成ボラ型	79	38.5	106	51.7	20	9.8	205	100
合計	247	37.9	347	53.3	57	8.8	651	100

N. A. 不明を除いて集計 χ^2 検定 N. S.

表6 組織形態別情報伝達状況

	情報は伝わってくる		内容によって時々伝わってくる		伝わってこない		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
委員型	217	75.1	64	22.1	8	2.8	289	100
地縁型	114	70.4	48	29.6	0	0.0	162	100
行政育成ボラ型	158	74.5	49	23.1	5	2.4	212	100
合計	489	73.8	161	24.3	13	2.0	663	100

N. A. 不明を除いて集計 χ^2 検定 N. S.

表7 組織形態別活動の楽しさの状況

	はい		どちらともいえない		いいえ		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
委員型	155	51.7	139	46.3	6	2.0	300	100
地縁型	44	27.0	103	63.2	16	9.8	163	100
行政育成ボラ型	131	61.8	77	36.3	4	1.9	212	100
合計	330	48.9	319	47.3	26	3.9	675	100

N. A. 不明を除いて集計 χ^2 検定 P<.001

表8 組織形態別発言できる雰囲気状況

	なっている		どちらともいえない		なっていない		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
委員型	222	75.8	68	23.2	3	1.0	293	100
地縁型	99	61.1	59	36.4	4	2.5	162	100
行政育成ボラ型	144	69.2	61	29.3	3	1.4	208	100
合計	465	70.1	188	28.4	10	1.5	663	100

N. A. 不明を除いて集計 χ^2 検定 P<.05

表9 組織形態別メンバー意見の理解

	理解している		少し理解している		理解していない		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
委員型	211	76.7	62	22.5	2	0.7	275	100
地縁型	99	69.2	39	27.3	5	3.5	143	100
行政育成ボラ型	147	74.6	47	23.9	3	1.5	197	100
合計	457	74.3	148	24.1	10	1.6	615	100

N. A. 不明を除いて集計 χ^2 検定 N. S.

表10 組織形態別メンバー意見の尊重

	はい		いいえ		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%
委員型	243	98.0	5	2.0	248	100
地縁型	116	95.9	5	4.1	121	100
行政育成ボラ型	159	95.8	7	4.2	166	100
合計	518	96.8	17	3.2	535	100

N. A. 不明を除いて集計 χ^2 検定 N. S.

表11 組織形態別リーダーとメンバーの信頼関係

	はい		いいえ		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%
委員型	228	98.7	3	1.3	231	100
地縁型	102	93.6	7	6.4	109	100
行政育成ボラ型	160	96.4	6	3.6	166	100
合計	490	96.8	16	3.2	506	100

N. A. 不明を除いて集計 χ^2 検定 P<.05

表12 組織形態別地域住民の活動認知状況

	かなり知られている		少し知られている		あまり知られていない		まったく知られていない		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
委員型	57	19.1	151	50.5	84	28.1	7	2.3	299	100
地縁型	43	26.2	90	54.9	29	17.7	2	1.2	164	100
行政育成ボラ型	89	42.0	101	47.6	21	9.9	1	0.5	212	100
合計	189	28.0	342	50.7	134	19.9	10	1.5	675	100

N. A. 不明を除いて集計 χ^2 検定 P<.001

表13 組織形態別地域の意見の反映状況

	よく反映している		やや反映している		あまり反映していない		全く反映していない		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
委員型	16	5.4	169	56.7	105	35.2	8	2.7	298	100
地縁型	19	11.7	92	56.8	47	29.0	4	2.5	162	100
行政育成ボラ型	49	23.3	124	59.0	35	16.7	2	1.0	210	100
合計	84	12.5	385	57.5	187	27.9	14	2.1	670	100

N. A. 不明を除いて集計 χ^2 検定 P<.001

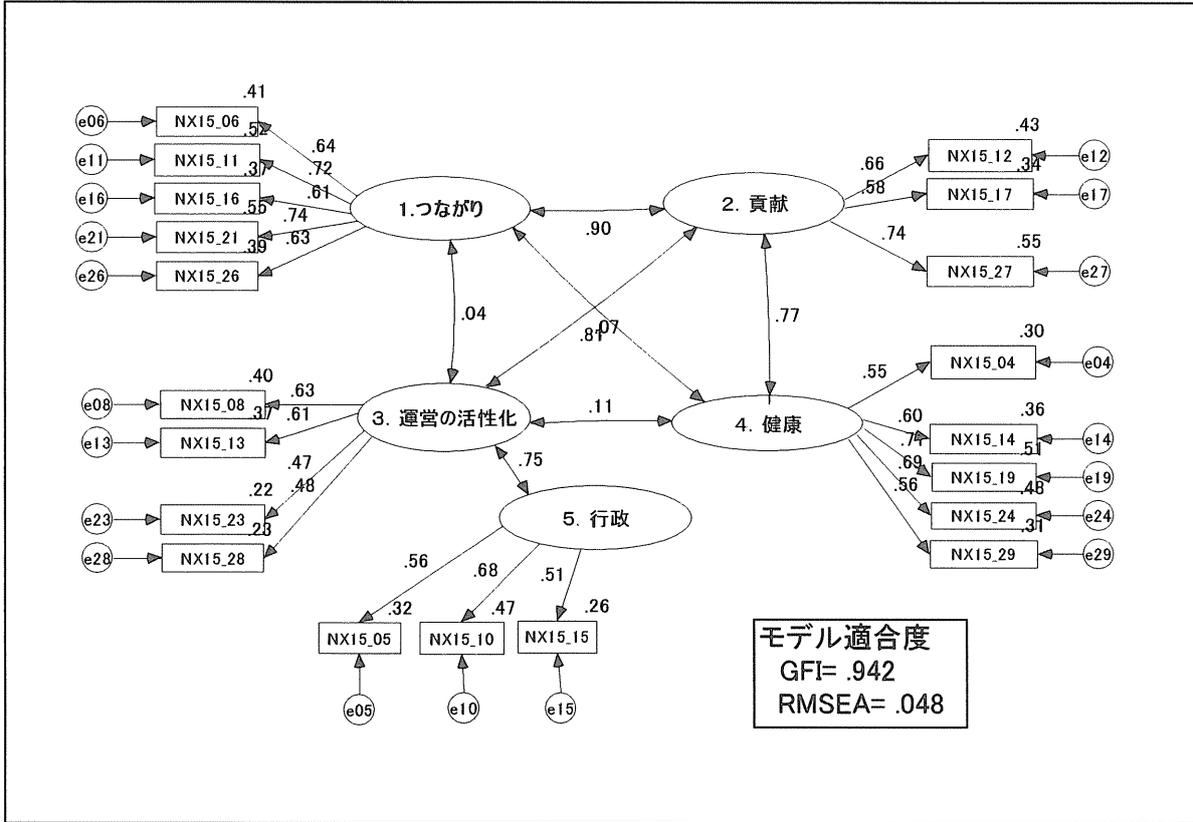


図1 活動成果指標尺度モデル

表14 下位尺度項目と信頼性 (アルファ係数)

下位尺度	項目の数	Cronbach のアルファ	
		オリジナル	二値
「人とのつながり」 問15-6. 親しくつきあえる友人ができた 問15-11. 進んで外に出るようになった 問15-16. 人とのつながりを大切にするようになった 問15-21. 人との出会いが楽しくなった 問15-26. お互い声をかけあうようになった	5	0.87	0.79
「地域社会への貢献」 問15-12. 地域で活動のPRをするようになった 問15-17. 地域の人たちに感謝された 問15-27. 地域の活動などに自発的に参加するようになった	3	0.78	0.70
「運営の活性化」 問15-8. 人間関係が難しかった 問15-13. 組織の運営が難しかった 問15-23. 活動が義務的、形式になり、楽しくなくなった 問15-28. 人間関係などで活動に自信をなくした	4	0.67	0.63
「健康行動」 問15-4. 健康のために運動するようになった 問15-14. 健康についての関心が高くなった 問15-19. 自分の健康管理をしっかりするようになった 問15-24. 栄養のバランスなど食生活に気を配るようになった 問15-29. 睡眠や休養を十分とるようになった	5	0.83	0.73
「専門職・行政との関係」 問15-5. 行政の援助が得られなかった 問15-10. 専門職の援助が得られなかった 問15-15. 専門職との考え方の違いに気づいた	3	0.64	0.59
全体	20	0.87	0.84

表15 組織形態別下位尺度得点(平均値)と分散分析結果

	統計量					分散分析		多重比較(5%)水準
	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	F値	有意確率	Schffe法
人とのつながり (合計)	678	2.76	1.88	0	5	22.76	0.00]]]
委員型	300	2.63	1.87	0	5			
地縁型	164	2.15	1.86	0	5			
行政育成ボラ型	214	3.39	1.72	0	5			
地域社会への貢献 (合計)	678	1.16	1.13	0	3	23.43	0.00]]
委員型	300	1.06	1.08	0	3			
地縁型	164	0.81	1.03	0	3			
行政育成ボラ型	214	1.56	1.17	0	3			
運営の活性化 (合計)	678	0.44	0.77	0	4	7.86	0.00]]
委員型	300	0.31	0.64	0	4			
地縁型	164	0.52	0.81	0	3			
行政育成ボラ型	214	0.57	0.88	0	4			
健康行動 (合計)	678	2.62	1.79	0	5	37.97	0.00]]
委員型	300	2.38	1.80	0	5			
地縁型	164	2.02	1.69	0	5			
行政育成ボラ型	214	3.43	1.56	0	5			
専門職・行政との関係 (合計)	678	0.41	0.69	0	3	10.42	0.00]]
委員型	300	0.29	0.59	0	3			
地縁型	164	0.40	0.68	0	3			
行政育成ボラ型	214	0.57	0.78	0	3			

表16 活動実態別活動成果得点

	「人とのつながり」		「地域社会への貢献」		「運営の活性化」		「健康行動」		「専門職・行政との関係」	
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD
活動参加状況	***		***		n. s.		**		*	
ほとんど参加している	3.05	1.88	1.35	1.15	0.49	0.82	2.78	1.79	0.48	0.76
半分以上は参加している	2.87	1.74	1.17	1.12	0.37	0.67	2.70	1.76	0.31	0.59
半分以下しか参加していない	1.83	1.85	0.67	0.93	0.42	0.81	2.05	1.68	0.36	0.60
まったく参加していない	1.89	1.75	0.67	1.14	0.50	0.86	2.28	2.02	0.44	0.62
全体	2.76	1.88	1.16	1.13	0.44	0.77	2.63	1.79	0.41	0.69
会議出席状況	***		***		n. s.		*		n. s.	
ほとんど参加している	2.96	1.87	1.31	1.14	0.48	0.82	2.76	1.77	0.47	0.74
半分以上は参加している	2.93	1.78	1.17	1.15	0.38	0.68	2.68	1.76	0.36	0.68
半分以下しか参加していない	2.08	1.85	0.84	1.03	0.43	0.79	2.23	1.77	0.33	0.59
まったく参加していない	1.97	1.90	0.68	0.98	0.47	0.79	2.21	2.00	0.35	0.54
全体	2.76	1.88	1.17	1.13	0.44	0.77	2.63	1.79	0.41	0.69
研修参加状況	***		***		n. s.		***		n. s.	
参加している	2.98	1.84	1.30	1.15	0.42	0.77	2.81	1.75	0.41	0.71
参加していない	1.70	1.70	0.56	0.86	0.51	0.79	1.83	1.76	0.40	0.63
全体	2.75	1.88	1.17	1.14	0.44	0.78	2.63	1.79	0.41	0.69
発言状況	***		***		n. s.		**		*	
できる	3.22	1.88	1.49	1.18	0.51	0.90	2.95	1.82	0.52	0.78
できたり、できなかつたり	2.67	1.80	1.06	1.09	0.41	0.69	2.52	1.72	0.35	0.63
できない	1.75	1.80	0.61	0.92	0.44	0.71	2.11	1.85	0.39	0.62
全体	2.80	1.87	1.18	1.14	0.45	0.78	2.65	1.78	0.41	0.69
情報伝達状況	***		***		n. s.		***		n. s.	
情報は伝わってくる	3.04	1.85	1.30	1.15	0.46	0.79	2.85	1.76	0.43	0.72
内容によって時々伝わってくる	2.14	1.76	0.86	1.05	0.41	0.72	2.11	1.76	0.39	0.63
伝わってこない	0.92	1.12	0.38	0.51	0.85	1.07	1.77	1.64	0.38	0.51
全体	2.78	1.88	1.17	1.14	0.45	0.78	2.65	1.78	0.42	0.69
活動の楽しさの状況	***		***		***		***		**	
事業や会議は楽しい	3.63	1.62	1.65	1.12	0.49	0.81	3.25	1.60	0.50	0.77
どちらともいえない	2.02	1.73	0.71	0.94	0.35	0.67	2.12	1.74	0.32	0.59
楽しくない	0.77	1.21	0.35	0.69	0.96	1.08	1.04	1.78	0.38	0.64
全体	2.76	1.88	1.16	1.13	0.44	0.77	2.63	1.79	0.41	0.69
発言できる雰囲気状況	***		***		***		***		n. s.	
なっている	3.02	1.85	1.33	1.15	0.40	0.74	2.82	1.74	0.43	0.72
どちらともいえない	2.27	1.84	0.82	1.02	0.49	0.79	2.29	1.81	0.34	0.61
なっていない	0.90	1.45	0.40	0.70	1.50	1.18	1.00	1.63	0.80	0.42
全体	2.78	1.88	1.17	1.13	0.44	0.77	2.64	1.78	0.41	0.69
メンバー意見の理解	***		***		***		***		*	
理解している	3.20	1.79	1.39	1.14	0.46	0.80	2.93	1.72	0.45	0.73
少し理解している	2.03	1.76	0.81	1.04	0.38	0.65	2.18	1.77	0.32	0.61
理解していない	1.20	1.55	0.50	0.71	1.50	1.27	1.30	1.42	0.90	0.57
全体	2.88	1.85	1.23	1.14	0.45	0.79	2.73	1.76	0.42	0.70
メンバー意見の尊重	n. s.		n. s.		***		n. s.		**	
尊重している	3.06	1.84	1.31	1.13	0.43	0.77	2.87	1.74	0.42	0.71
していない	2.18	1.91	1.06	1.20	1.18	1.07	2.29	1.90	0.94	0.75
合計	3.03	1.84	1.31	1.14	0.45	0.79	2.86	1.75	0.43	0.72
リーダーとメンバーの信頼関係	***		*		***		**		*	
信頼関係出来ている	3.17	1.79	1.35	1.14	0.43	0.77	2.94	1.70	0.42	0.71
出来ていない	1.38	1.54	0.75	0.93	1.38	1.20	1.56	1.59	0.88	0.62
全体	3.11	1.81	1.33	1.14	0.46	0.80	2.90	1.71	0.43	0.71
地域住民の活動認知状況	***		***		**		***		*	
かなり知られている	3.58	1.77	1.78	1.17	0.60	0.92	3.41	1.60	0.53	0.80
少し知られている	2.68	1.79	1.07	1.04	0.35	0.66	2.53	1.74	0.36	0.64
あまり知られていない	1.88	1.78	0.56	0.87	0.40	0.72	1.83	1.77	0.31	0.57
まったく知られていない	0.90	1.20	0.10	0.32	0.80	1.03	1.50	1.35	0.60	0.70
全体	2.75	1.88	1.15	1.13	0.44	0.76	2.62	1.79	0.40	0.68
地域の意見の反映状況	***		***		***		***		***	
よく反映している	4.07	1.40	2.07	1.06	0.76	1.05	3.74	1.54	0.64	0.83
やや反映している	3.01	1.77	1.27	1.12	0.37	0.68	2.81	1.69	0.40	0.69
あまり反映していない	1.76	1.78	0.56	0.81	0.41	0.71	1.78	1.71	0.28	0.55
全く反映していない	0.93	1.07	0.21	0.43	0.93	1.14	1.43	1.60	0.79	0.70
全体	2.75	1.88	1.15	1.13	0.44	0.77	2.61	1.79	0.40	0.68

※ N. A. 不明等を除いて算出した

分散分析結果 *: $P < .05$ **: $P < .01$ ***: $P < .001$

表17 二元配置分散分析結果 (F値)

	人とのつながり	地域社会への貢献	運営の活性化	健康行動	専門職・行政との関係
活動参加度					
Q05 活動参加	3.68 *	2.60	2.64 *	1.17	0.37
Q08 研修参加	19.69 ***	19.81 ***	3.05	18.36 ***	0.08
Q05 * Q08	1.32	0.30	1.61	0.21	0.38
情報の流れ					
Q07 発言	1.28	1.14	0.88	2.14	0.24
Q09 情報伝達	7.61 **	3.79 *	1.85	6.06 **	0.14
Q07 * Q09	0.72	0.84	1.25	1.35	0.37
楽しさ (雰囲気)					
Q10 楽しさ	24.1 ***	11.05 ***	6.94 **	12.34 ***	1.35
Q11 雰囲気	3.7 *	4.84 **	8.79 ***	3.74 *	2.98
Q10 * Q11	2.4	4.45 **	1.88	2.35	0.87
リーダーとメンバー					
Q12 メンバー理解	6.10 ***	7.45 **	3.27 *	5.23 **	2.18
Q13 意見尊重	1.05	3.33	4.04 *	2.00	1.94
Q12 * Q13	1.11	2.95	0.99	0.61	0.76
地域での活動					
Q16 住民の認知	0.71	2.47	0.61	3.27 *	1.01
Q17 意見反映	8.15 ***	6.46 ***	2.34	3.86 **	2.24
Q16 * Q17	0.71	0.85	1.10	0.97	1.32

*:P<.05 **:P<.01 ***:P<.001

表18 多元配置分散分析の結果

Q08 研修参加	0.33	2.24	0.38
Q09 情報伝達	0.30	0.35	0.18
Q10 楽しさ	8.70 ***	2.64	6.81
Q12 メンバー理解	0.20	0.41	0.95
Q17 意見反映	3.00 *	3.06 *	2.32 **
Q09 * Q10 * Q12		5.88 *	
Q08 * Q09 * Q17			3.66 *
Q10 * Q17			3.41 **

検定結果が有意であったものだけを表示

※運営の活性化は、Q5、Q11、Q13で分析

表19 委員型（母子保健推進員・保健推進員）の活動実態別活動成果得点

	「人とのつながり」		「地域社会への貢献」		「運営の活性化」		「健康行動」		「専門職・行政との関係」	
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD
活動参加状況	n. s.		n. s.		n. s.		n. s.		n. s.	
ほとんど参加している	2.81	1.90	1.10	1.10	0.33	0.64	2.41	1.74	0.35	0.65
半分以上は参加している	2.57	1.77	1.13	1.07	0.25	0.55	2.38	1.91	0.18	0.44
半分以下しか参加していない	1.97	1.86	0.66	0.90	0.44	0.88	2.28	1.71	0.41	0.67
まったく参加していない	2.00	2.65	1.00	1.73	0.33	0.58	1.33	2.31	0.00	0.00
全体	2.63	1.87	1.06	1.08	0.31	0.64	2.38	1.80	0.29	0.59
会議出席状況	n. s.		n. s.		n. s.		n. s.		n. s.	
ほとんど参加している	2.77	1.88	1.15	1.08	0.31	0.63	2.46	1.75	0.35	0.65
半分以上は参加している	2.70	1.83	1.12	1.15	0.32	0.61	2.38	1.85	0.20	0.48
半分以下しか参加していない	1.80	1.69	0.63	0.89	0.30	0.79	1.97	1.81	0.30	0.60
まったく参加していない	2.67	2.15	0.92	1.00	0.42	0.67	2.42	2.02	0.17	0.39
全体	2.65	1.87	1.08	1.08	0.31	0.64	2.39	1.79	0.30	0.59
研修参加状況	**		**		n. s.		**		n. s.	
参加している	2.77	1.84	1.14	1.09	0.30	0.66	2.52	1.76	0.29	0.60
参加していない	1.65	1.80	0.59	0.90	0.38	0.55	1.49	1.79	0.27	0.56
全体	2.62	1.87	1.07	1.08	0.31	0.64	2.39	1.80	0.29	0.59
発言状況	**		***		n. s.		n. s.		n. s.	
できる	3.03	1.94	1.35	1.15	0.40	0.78	2.64	1.88	0.37	0.68
できたり、できなかつたり	2.53	1.74	0.96	1.02	0.25	0.53	2.23	1.72	0.25	0.54
できない	1.39	1.94	0.44	0.78	0.22	0.43	1.72	1.87	0.22	0.43
全体	2.65	1.87	1.08	1.09	0.31	0.64	2.36	1.80	0.29	0.59
情報伝達状況	**		*		n. s.		*		n. s.	
情報は伝わってくる	2.83	1.84	1.18	1.11	0.31	0.63	2.56	1.77	0.29	0.61
内容によって時々伝わってくる	2.27	1.86	0.84	1.00	0.31	0.61	1.94	1.80	0.33	0.59
伝わってこない	0.63	1.06	0.50	0.53	0.88	1.13	1.75	2.05	0.38	0.52
全体	2.65	1.87	1.09	1.08	0.33	0.65	2.40	1.80	0.30	0.60
活動の楽しさの状況	***		***		n. s.		***		**	
事業や会議は楽しい	3.34	1.73	1.44	1.10	0.34	0.62	2.88	1.64	0.37	0.69
どちらともいえない	1.88	1.72	0.67	0.91	0.27	0.65	1.81	1.79	0.19	0.43
楽しくない	1.50	1.64	0.50	0.55	0.67	0.82	2.50	2.26	0.67	0.82
全体	2.63	1.87	1.06	1.08	0.31	0.64	2.38	1.80	0.29	0.59
発言できる雰囲気状況	**		*		**		n. s.		n. s.	
なっている	2.81	1.84	1.17	1.08	0.27	0.55	2.47	1.77	0.31	0.61
どちらともいえない	2.28	1.89	0.79	1.04	0.46	0.82	2.26	1.85	0.22	0.54
なっていない	0.00	0.00	0.33	0.58	1.33	1.53	0.67	1.15	1.00	0.00
全体	2.66	1.87	1.08	1.08	0.32	0.65	2.40	1.79	0.29	0.59
メンバー意見の理解	***		n. s.		*		n. s.		n. s.	
理解している	2.96	1.83	1.18	1.09	0.30	0.63	2.51	1.77	0.30	0.59
少し理解している	1.95	1.75	0.87	1.06	0.34	0.63	2.11	1.83	0.24	0.62
理解していない	0.00	0.00	0.50	0.71	1.50	2.12	1.00	1.41	1.00	0.00
全体	2.71	1.87	1.11	1.09	0.32	0.65	2.41	1.79	0.29	0.60
メンバー意見の尊重	n. s.		n. s.		n. s.		n. s.		n. s.	
尊重している	2.84	1.88	1.14	1.08	0.30	0.61	2.49	1.81	0.28	0.57
していない	1.80	1.79	1.00	1.22	0.40	0.89	2.00	1.87	0.60	0.89
合計	2.82	1.88	1.14	1.08	0.30	0.62	2.48	1.81	0.28	0.58
リーダーとメンバーの信頼関係	*		n. s.		**		n. s.		n. s.	
信頼関係出来ている	2.97	1.81	1.20	1.08	0.33	0.64	2.59	1.78	0.29	0.58
出来ていない	0.67	1.15	0.67	0.58	1.33	1.53	2.00	2.00	0.67	0.58
全体	2.94	1.82	1.19	1.08	0.34	0.67	2.58	1.77	0.29	0.58
地域住民の活動認知状況	***		***		n. s.		***		n. s.	
かなり知られている	3.75	1.61	1.82	1.12	0.40	0.65	3.44	1.61	0.33	0.64
少し知られている	2.58	1.81	1.03	1.02	0.23	0.53	2.20	1.72	0.30	0.60
あまり知られていない	2.06	1.85	0.65	0.88	0.35	0.72	1.99	1.83	0.21	0.44
まったく知られていない	1.29	1.25	0.14	0.38	0.57	0.79	2.00	1.29	0.43	0.79
全体	2.63	1.87	1.06	1.07	0.30	0.62	2.37	1.80	0.28	0.57
地域の意見の反映状況	***		***		n. s.		*		**	
よく反映している	4.25	1.13	2.06	1.06	0.56	0.81	3.06	1.91	0.63	0.62
やや反映している	2.91	1.80	1.24	1.10	0.26	0.54	2.53	1.81	0.30	0.62
あまり反映していない	2.01	1.84	0.64	0.84	0.31	0.68	1.99	1.71	0.18	0.43
全く反映していない	1.25	1.16	0.38	0.52	0.63	0.92	2.25	1.67	0.63	0.74
全体	2.62	1.87	1.05	1.07	0.31	0.62	2.36	1.79	0.29	0.57

※ N. A. 不明等を除いて算出した

分散分析結果 *：P<.05 **：P<.01 ***：P<.001

表20 地縁型（愛育班）の活動実態別活動成果得点

	「人とのつながり」		「地域社会への貢献」		「運営の活性化」		「健康行動」		「専門職・行政との関係」	
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD
活動参加状況	*		n. s.		**		n. s.		n. s.	
ほとんど参加している	2.39	1.87	1.01	1.07	0.70	0.93	2.09	1.80	0.51	0.75
半分以上は参加している	2.51	1.64	0.76	1.04	0.41	0.55	2.43	1.52	0.30	0.66
半分以下しか参加していない	1.57	1.90	0.55	0.90	0.25	0.58	1.68	1.54	0.30	0.55
まったく参加していない	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	2.12	0.00	0.00	0.50	0.71
全体	2.17	1.86	0.82	1.03	0.52	0.81	2.03	1.69	0.40	0.68
会議出席状況	*		n. s.		*		*		n. s.	
ほとんど参加している	2.37	1.84	0.96	1.06	0.69	0.92	2.13	1.75	0.52	0.75
半分以上は参加している	2.26	1.69	0.77	1.09	0.31	0.53	2.29	1.56	0.29	0.62
半分以下しか参加していない	1.81	1.92	0.61	0.93	0.33	0.63	1.75	1.59	0.31	0.58
まったく参加していない	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.22	0.17	0.41	0.17	0.41
全体	2.13	1.84	0.81	1.03	0.52	0.81	2.01	1.68	0.41	0.68
研修参加状況	**		**		n. s.		*		n. s.	
参加している	2.37	1.85	0.95	1.10	0.49	0.77	2.20	1.74	0.40	0.70
参加していない	1.49	1.73	0.45	0.75	0.57	0.93	1.51	1.52	0.45	0.65
全体	2.11	1.86	0.80	1.03	0.51	0.82	2.00	1.70	0.41	0.69
発言状況	n. s.		n. s.		n. s.		n. s.		*	
できる	2.26	1.87	1.00	1.14	0.47	0.77	2.04	1.66	0.60	0.88
できたり、できなかったり	2.22	1.85	0.76	0.99	0.57	0.83	2.09	1.75	0.29	0.53
できない	2.05	1.93	0.74	0.99	0.58	0.90	2.16	1.57	0.37	0.50
全体	2.21	1.86	0.84	1.04	0.54	0.82	2.08	1.69	0.41	0.68
情報伝達状況	**		n. s.		n. s.		**		n. s.	
情報は伝わってくる	2.49	1.86	0.89	1.05	0.57	0.81	2.27	1.69	0.44	0.73
内容によって時々伝わってくる	1.44	1.64	0.67	0.97	0.42	0.82	1.50	1.54	0.33	0.56
伝わってこない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	2.18	1.86	0.82	1.03	0.52	0.81	2.04	1.68	0.41	0.68
活動の楽しさの状況	***		***		*		***		n. s.	
事業や会議は楽しい	3.55	1.66	1.39	1.17	0.45	0.79	2.77	1.65	0.48	0.73
どちらともいえない	1.87	1.67	0.68	0.93	0.48	0.73	1.99	1.59	0.40	0.69
楽しくない	0.25	0.58	0.13	0.34	1.00	1.21	0.06	0.25	0.25	0.45
全体	2.17	1.86	0.82	1.03	0.52	0.81	2.01	1.69	0.40	0.68
発言できる雰囲気状況	*		n. s.		**		*		n. s.	
なっている	2.43	1.88	0.92	1.07	0.39	0.67	2.29	1.67	0.36	0.68
どちらともいえない	1.85	1.79	0.69	0.99	0.63	0.89	1.69	1.66	0.44	0.70
なっていない	0.25	0.50	0.25	0.50	1.75	1.50	0.25	0.50	0.75	0.50
全体	2.17	1.87	0.82	1.03	0.51	0.81	2.02	1.69	0.40	0.68
メンバー意見の理解	***		*		**		***		n. s.	
理解している	2.72	1.83	1.04	1.10	0.52	0.80	2.57	1.65	0.45	0.76
少し理解している	1.59	1.57	0.59	0.91	0.44	0.75	1.51	1.47	0.31	0.52
理解していない	0.40	0.55	0.20	0.45	1.80	1.30	0.40	0.55	1.00	0.71
全体	2.33	1.83	0.89	1.06	0.54	0.84	2.20	1.68	0.43	0.71
メンバー意見の尊重	**		*		***		*		n. s.	
尊重している	2.59	1.84	0.97	1.05	0.48	0.77	2.45	1.65	0.43	0.73
していない	0.40	0.55	0.00	0.00	2.20	0.84	0.60	0.89	1.00	0.71
合計	2.50	1.85	0.93	1.05	0.55	0.85	2.37	1.67	0.45	0.73
リーダーとメンバーの信頼関係	**		*		***		**		n. s.	
信頼関係出来ている	2.69	1.83	1.00	1.11	0.46	0.74	2.52	1.62	0.40	0.72
出来ていない	0.43	0.53	0.14	0.38	2.00	1.15	0.57	0.79	0.86	0.69
全体	2.54	1.86	0.94	1.10	0.56	0.85	2.39	1.64	0.43	0.72
地域住民の活動認知状況	***		***		n. s.		***		n. s.	
かなり知られている	2.49	2.12	1.05	1.15	0.51	0.91	2.30	1.63	0.37	0.62
少し知られている	2.43	1.75	0.93	1.04	0.49	0.75	2.28	1.72	0.33	0.67
あまり知られていない	0.93	1.16	0.14	0.35	0.52	0.74	0.93	1.19	0.62	0.78
まったく知られていない	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	1.41	0.00	0.00	1.00	0.00
全体	2.15	1.86	0.81	1.03	0.52	0.81	2.02	1.69	0.40	0.68
地域の意見の反映状況	***		***		**		***		n. s.	
よく反映している	3.16	1.98	1.26	1.15	0.53	0.61	2.95	1.81	0.16	0.37
やや反映している	2.61	1.77	1.01	1.07	0.48	0.83	2.41	1.51	0.41	0.71
あまり反映していない	1.02	1.38	0.34	0.70	0.49	0.72	0.98	1.42	0.45	0.69
全く反映していない	0.25	0.50	0.00	0.00	2.00	1.15	0.25	0.50	1.00	0.82
全体	2.15	1.86	0.82	1.03	0.52	0.81	2.01	1.68	0.41	0.68

※ N.A. 不明等を除いて算出した

分散分析結果 *：P<.05 **：P<.01 ***：P<.001

表21 行政育成ボランティア型（食生活改善推進員）の活動実態別活動成果得点

	「人とのつながり」		「地域社会への貢献」		「運営の活性化」		「健康行動」		「専門職・行政との関係」	
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD
活動参加状況	***		***		n. s.		***		n. s.	
ほとんど参加している	4.06	1.41	2.09	0.98	0.61	0.94	4.09	1.10	0.71	0.91
半分以上は参加している	3.43	1.61	1.41	1.16	0.52	0.81	3.25	1.54	0.49	0.70
半分以下しか参加していない	2.06	1.78	0.84	0.99	0.63	0.98	2.31	1.79	0.41	0.61
まったく参加していない	2.15	1.57	0.69	1.11	0.38	0.65	2.85	1.86	0.54	0.66
全体	3.41	1.71	1.56	1.17	0.56	0.88	3.44	1.56	0.57	0.78
会議出席状況	***		***		n. s.		***		n. s.	
ほとんど参加している	3.94	1.49	2.00	1.08	0.62	0.96	4.04	1.06	0.67	0.86
半分以上は参加している	3.52	1.60	1.42	1.13	0.48	0.81	3.21	1.64	0.59	0.82
半分以下しか参加していない	2.58	1.84	1.25	1.13	0.64	0.90	2.92	1.75	0.39	0.60
まったく参加していない	2.19	1.60	0.75	1.06	0.50	0.73	2.81	1.91	0.56	0.63
全体	3.42	1.70	1.57	1.16	0.57	0.88	3.46	1.55	0.59	0.79
研修参加状況	***		***		n. s.		**		n. s.	
参加している	3.70	1.61	1.77	1.11	0.56	0.90	3.64	1.42	0.60	0.81
参加していない	2.06	1.54	0.68	0.98	0.56	0.82	2.65	1.82	0.47	0.66
全体	3.43	1.71	1.59	1.16	0.56	0.88	3.47	1.53	0.57	0.79
発言状況	***		***		n. s.		***		n. s.	
できる	4.14	1.36	2.03	1.04	0.68	1.09	4.00	1.27	0.68	0.81
できたり、できなかったり	3.25	1.72	1.45	1.16	0.54	0.75	3.30	1.42	0.53	0.77
できない	1.80	1.54	0.65	0.99	0.50	0.69	2.40	2.09	0.55	0.83
全体	3.45	1.71	1.60	1.17	0.59	0.89	3.48	1.52	0.59	0.79
情報伝達状況	***		***		n. s.		**		n. s.	
情報は伝わってくる	3.71	1.68	1.76	1.12	0.58	0.92	3.66	1.48	0.60	0.81
内容によって時々伝わってくる	2.67	1.53	1.08	1.15	0.53	0.74	2.92	1.62	0.51	0.74
伝わってこない	1.40	1.14	0.20	0.45	0.80	1.10	1.80	0.84	0.40	0.55
全体	3.42	1.71	1.57	1.17	0.57	0.88	3.45	1.55	0.58	0.78
活動の楽しさの状況	***		***		**		***		n. s.	
事業や会議は楽しい	4.01	1.40	2.00	1.05	0.68	0.98	3.84	1.33	0.65	0.85
どちらともいえない	2.47	1.76	0.84	0.99	0.32	0.59	2.83	1.67	0.45	0.64
楽しくない	1.75	1.50	1.00	1.41	1.25	0.96	2.75	2.06	0.50	1.00
全体	3.41	1.72	1.56	1.17	0.56	0.88	3.45	1.55	0.58	0.78
発言できる雰囲気状況	***		***		n. s.		**		*	
なっている	3.76	1.59	1.85	1.12	0.60	0.96	3.72	1.38	0.67	0.85
どちらともいえない	2.67	1.78	0.97	1.02	0.41	0.64	2.90	1.74	0.36	0.58
なっていない	2.67	1.53	0.67	1.15	1.33	0.58	2.33	2.52	0.67	0.58
全体	3.43	1.72	1.58	1.16	0.56	0.88	3.46	1.55	0.58	0.79
メンバー意見の理解	***		***		n. s.		***		n. s.	
理解している	3.86	1.48	1.91	1.05	0.63	0.96	3.79	1.34	0.65	0.84
少し理解している	2.51	1.83	0.91	1.10	0.38	0.61	2.83	1.71	0.43	0.65
理解していない	3.33	0.58	1.00	1.00	1.00	1.00	3.00	1.00	0.67	0.58
全体	3.53	1.66	1.66	1.14	0.58	0.89	3.55	1.49	0.60	0.80
メンバー意見の尊重	n. s.		n. s.		n. s.		n. s.		n. s.	
尊重している	3.74	1.58	1.82	1.11	0.58	0.94	3.77	1.33	0.62	0.83
していない	3.71	1.38	1.86	1.07	1.00	0.82	3.71	1.38	1.14	0.69
合計	3.73	1.57	1.83	1.11	0.60	0.93	3.77	1.33	0.64	0.83
リーダーとメンバーの信頼関係	n. s.		n. s.		n. s.		*		n. s.	
信頼関係出来ている	3.77	1.57	1.79	1.12	0.57	0.92	3.71	1.36	0.61	0.82
出来ていない	2.83	1.47	1.50	1.05	0.67	0.82	2.50	1.64	1.00	0.63
全体	3.73	1.57	1.78	1.12	0.57	0.92	3.67	1.39	0.62	0.82
地域住民の活動認知状況	***		***		*		***		*	
かなり知られている	4.00	1.46	2.11	1.05	0.76	1.03	3.92	1.29	0.74	0.91
少し知られている	3.06	1.75	1.24	1.06	0.41	0.72	3.24	1.59	0.49	0.67
あまり知られていない	2.48	1.78	0.76	1.14	0.48	0.68	2.43	1.80	0.29	0.56
まったく知られていない	0.00		0.00		0.00		1.00		1.00	
全体	3.38	1.73	1.55	1.17	0.56	0.88	3.43	1.57	0.58	0.78
地域の意見の反映状況	***		***		**		***		*	
よく反映している	4.37	1.03	2.39	0.86	0.92	1.22	4.27	1.02	0.84	0.94
やや反映している	3.44	1.63	1.51	1.13	0.43	0.71	3.48	1.43	0.52	0.75
あまり反映していない	2.00	1.85	0.63	0.81	0.57	0.74	2.23	1.73	0.37	0.60
全く反映していない	1.00	1.41	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.71	1.00	0.00
全体	3.39	1.73	1.55	1.17	0.56	0.88	3.43	1.56	0.57	0.79

※ N.A. 不明等を除いて算出した

分散分析結果 *: $P < .05$ **: $P < .01$ ***: $P < .001$

表22 新活動成果指標尺度

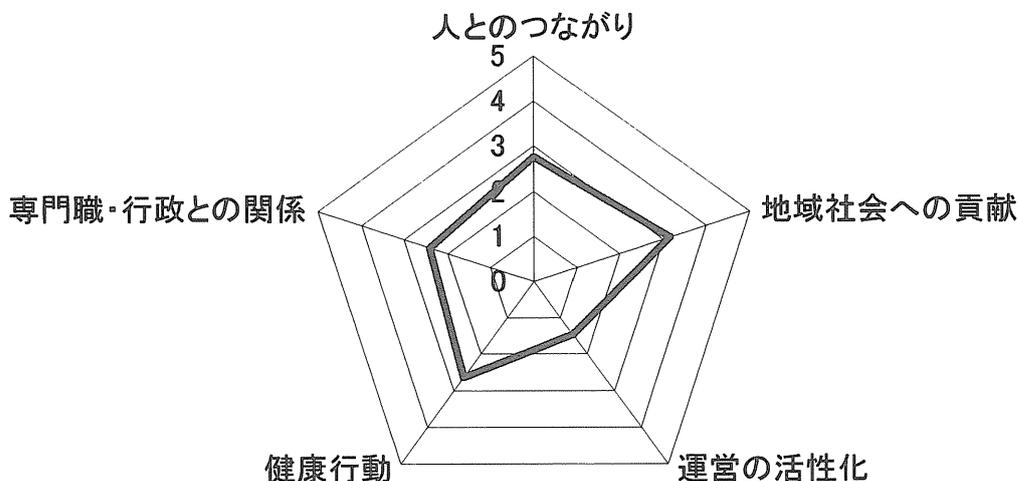
<p>『人とのつながり』</p> <p>1 親しくつきあえる友人ができた(Q15-06)</p> <p>6 進んで外に出るようになった(Q15-11)</p> <p>11 人とのつながりを大切にするようになった(Q15-16)</p> <p>16 人との出会いが楽しくなった(Q15-21)</p> <p>21 お互い声をかけあうようになった(Q15-26)</p> <p>26 友人を活動に誘うようになった</p>
<p>『地域社会への貢献』</p> <p>2 地域に溶け込めたと感じるようになった</p> <p>7 地域で活動のPRをするようになった(Q15-12)</p> <p>12 地域の人たちに感謝された(Q15-17)</p> <p>17 地域の課題がみえるようになった</p> <p>22 地域の活動などに自発的に参加するようになった(Q15-27)</p>
<p>『運営の活性化』</p> <p>3 人間関係が難しかった(Q15-08)</p> <p>8 組織の運営が難しかった(Q15-13)</p> <p>13 組織の理念や目的を共有できなかった</p> <p>18 活動が義務的、形式になり、楽しくなくなった(Q15-23)</p> <p>23 人間関係などで活動に自信をなくした(Q15-28)</p>
<p>『健康行動』</p> <p>4 健康のために運動するようになった(Q15-04)</p> <p>9 健康についての関心が高くなった(Q15-14)</p> <p>14 健康管理をしっかりとるようになった(Q15-19)</p> <p>19 栄養のバランスなど食生活に気を配るようになった(Q15-24)</p> <p>24 睡眠や休養を十分とるようになった(Q15-29)</p>
<p>『専門職・行政との関係』</p> <p>5 行政の援助が得られなかった(Q15-05)</p> <p>10 専門職の援助が得られなかった(Q15-10)</p> <p>15 専門職との考え方との違いに気づいた(Q15-15)</p> <p>20 行政との考え方の違いに気づいた</p> <p>25 行政からの理解が得られなかった</p>

表23

活動成果指標尺度調査用紙(案) 1ページ目

	はい	いいえ
1 親しくつきあえる友人ができた(Q15-06)		
2 地域に溶け込めたと感じるようになった		
3 人間関係が難しかった(Q15-08)		
4 健康のために運動するようになった(Q15-04)		
5 行政の援助が得られなかった(Q15-05)		
6 進んで外に出るようになった(Q15-11)		
7 地域で活動のPRをするようになった(Q15-12)		
8 組織の運営が難しかった(Q15-13)		
9 健康についての関心が高くなった(Q15-14)		
10 専門職の援助が得られなかった(Q15-10)		
11 人とのつながりを大切にするようになった(Q15-16)		
12 地域の人たちに感謝された(Q15-17)		
13 組織の理念や目的を共有できなかった		
14 健康管理をしっかりとるようになった(Q15-19)		
15 専門職との考え方との違いに気づいた(Q15-15)		
16 人との出会いが楽しくなった(Q15-21)		
17 地域の課題がみえるようになった		
18 活動が義務的、形式になり、楽しくなくなった(Q15-23)		
19 栄養のバランスなど食生活に気を配るようになった(Q15-24)		
20 行政との考え方との違いに気づいた		
21 お互い声をかけあうようになった(Q15-26)		
22 地域の活動などに自発的に参加するようになった(Q15-27)		
23 人間関係などで活動に自信をなくした(Q15-28)		
24 睡眠や休養を十分とるようになった(Q15-29)		
25 行政からの理解が得られなかった		
26 友人を活動に誘うようになった		

活動成果指標	該当番号					○の合計
『人とのつながり』	1	6	11	16	21	
『地域社会への貢献』	2	7	12	17	22	
『運営の活性化』	3	8	13	18	23	
『健康行動』	4	9	14	19	24	
『専門職・行政との関係』	5	10	15	20	25	



※合計得点の平均に不足項目数をプラスして算出

活動成果指標尺度調査用紙(案) 2ページ目
(活動状況等の質問項目)

- A1 実施年月日
- A2 組織名
- A3 組織内地位(あなたの組織内での役割)
- A4 経験年数(組織のメンバーになってからの年数)

- B1 あなたの性別は
- B2 あなたの年齢は
- B3 あなたは、仕事をしていますか。
- B4 あなたは、現在のところに居住して何年になりますか(居住年数)。
- B5 あなたの家族形態は

I. 活動参加度

- Q01 あなたは、出席しなければならない組織の活動(事業や会議)にどの程度参加していますか。
- Q02 あなたは、活動に関する研修会に参加していますか。

II. 情報

- Q03 あなたは、リーダーや他のメンバーの前で意見や疑問を発言することができますか。
- Q04 あなたへ組織の活動に関する情報が伝わってきていますか。

III. 楽しさ(雰囲気)

- Q05 事業や会議の時、あなたは楽しいですか。
- Q06 会議の時、みんなが発言できる雰囲気になっていますか。

IV. リーダーとメンバー

- Q07 リーダーは、メンバーの意見や考えを理解していると思いますか。
- Q08 リーダーはメンバーの意見を尊重していると思いますか。

V. 地域での活動

- Q09 地域の人達は、あなた達の活動を知っていると思いますか。
- Q10 あなた達の活動は、地域の人達の意見を反映していると思いますか。

※ 質問項目のみ掲載

(参考)活動状況と活動成果指標の関連

	人とのつ ながり	地域社会 への貢献	運営の活 性化※	健康行動	専門職・行 政との関係
活動参加度					
Q01 活動参加	*		*		
Q02 研修参加	***	***		***	
情報の流れ					
Q03 発言					
Q04 情報伝達	**	*		**	
楽しさ(雰囲気)					
Q05 楽しさ	***	***	**	***	
Q06 雰囲気	*	**	***	*	
リーダーとメンバー					
Q07 メンバー理解	***	**	*	**	
Q08 意見尊重			*		
地域での活動					
Q09 住民の認知				*	
Q10 意見反映	***	***		**	

※ 活動状況はプラスの場合運営の活性化の値は低くなるので注意

